

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜日発行
日本計量新報社
東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071
http://www.keiryuu-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機
Pack
NAVI
速くハカル、
楽にツメル



Yamato
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

日本計量振興協会が総会開催

5月28日、ホテルインターコンチネンタル東京ベイで

コロナ禍で少人数で開催

日本計量振興協会(日計振)は、2020年5月28日、ホテルインターコンチネンタル東京ベイで、第9回定時総会を開催した。新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、計量功労者表彰式および調査研究委員会の成果発表、懇親会を中止した。

定時総会のみを開催

■提案議題を原案として
承認
総会の司会は河住春樹専務理事。
鍋島孝敏会長があいさつした。
総会の成立を確認し、鍋島会長を議長に提案議題を審議した。

報告事項1..2019年度(令和元年度)公益報告(報告..河住専務理事、加藤総務部長)、第2号議案・同決算報告(報告..加藤総務部長)を一括審議し承認した。同会計監査報告は榎林功監事。第3号議案..役員を選任(報告..河住専務理事)に関しては、コロナ禍のもと現役員がそのまま再任となり承認された。
■2020年度事業計画
なごを報告

令和2年度事業計画

1、事業方針
日本経済は、米中経済摩擦やハイテク覇権争いおよび中国や欧州の経済減速等の海外要因、また直近では、新型コロナウィルスの影響により先行き不透明な状況が続いており、本年は好調な企

6つの重点事業

日計振の目的は、正しい計量思想の普及を図るとともに適正な計量管理を推進し、あわせて国際整合性を有する計量制度の確立を支援することにより、わが国産業・社会の発展に寄与することであり、計量団体として総合的な活動を展開している。今年度事業では、前期の各種講習会が延期となつているほか、計量記念日全国大会は計量表彰式典のみの予定。日本計量振興協会「標語」と「なんでもはかってみようコンテスト」は中止となった。

2020年度は次の6つの重点事業を実施していく。①郵政計量管理事業の継続実施。②試験・校正事業体制の確保。③計量管理の推進。④計量の教育・訓練の充実。⑤計量制度改正への対応策の検討・実施。⑥計量の情報調査・交流の推進

直し・強化の好機となつており、特に、計量士にとっては、懸案である職域拡大と地位向上を図るまたとない機会であると考えられる。また、自動はかりを中心とした新制度を有効なものとして実現させるためには、計量団体・事業者・機関は、協力・連携して対応することが必要である。

当会においては、昨年度、指定検定期間に関する情報交換等の取り組みを推進し、あわせて国際整合性を有する計量制度の確立を支援することにより、わが国産業・社会の発展に寄与することであり、計量団体として総合的な活動を展開している。今年度事業では、前期の各種講習会が延期となつているほか、計量記念日全国大会は計量表彰式典のみの予定。日本計量振興協会「標語」と「なんでもはかってみようコンテスト」は中止となった。



TANITA デジタルスケール TL-280
見やすいパッケライト付 大型表示
¥33,000(税抜)

今週の主な記事

- ① 日本計量振興協会が令和2年度総会開催
- ② 計量士向け研修②計測と制御の技術講習会を開催
- ③ 計量士向け研修③計量管理の推進と交流の推進
- ④ 計量士向け研修④計量管理の推進と交流の推進
- ⑤ 計量士向け研修⑤計量管理の推進と交流の推進
- ⑥ 計量士向け研修⑥計量管理の推進と交流の推進
- ⑦ 計量士向け研修⑦計量管理の推進と交流の推進
- ⑧ 計量士向け研修⑧計量管理の推進と交流の推進
- ⑨ 計量士向け研修⑨計量管理の推進と交流の推進
- ⑩ 計量士向け研修⑩計量管理の推進と交流の推進
- ⑪ 計量士向け研修⑪計量管理の推進と交流の推進
- ⑫ 計量士向け研修⑫計量管理の推進と交流の推進

経産省計量行政室人事異動

経済産業省産業技術環境局計量行政室▽室長補佐(法定計量担当) 関口敦司(新エネルギー・産業技術総合開発機構【転付】)

組んでいく方針である

「令和2年度重点事業実施方針」
①郵政計量管理事業の継続実施
計量管理受託事業を的確に実施するため研修の徹底および業務管理体制の強化を図る。
②試験・校正事業体制の確保
JCSS校正事業の推進及び品質システムの確保を図る。
③計量管理の推進
自動はかりの計量管理実施体制を推進する。
④計量の情報調査・交流の推進
以下の活動を通じ計量の情報調査・交流を充実する。
①地区計量団体連絡会議
②計量士部会
③認定事業者即会
④ISO/TC12(量及単位)国内委員会・JIS原案作成委員会
⑤各事業別実施項目
2・1計量の普及啓発(次ページへつづく)

3293・3294号を合併号とし、6月28日付で発行します。

3293・3294号を合併号とし、6月28日付で発行します。

圧力計測機器の校正は長野計器グループへ

豊富な校正機器、充実した校正設備で様々なニーズにお応えします。

高いスキルを持ったスタッフが丁寧にJCSS校正作業をおこなっています。

長野計器とナガノ計装は、計量法に基づく圧力の校正事業者です。

JCSS 0080 JCSS 0143

長野計器株式会社 品質保証部(JCSS0080)と株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター(JCSS0143)は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。

長野計器 〒143-0022 東京都大田区東馬込一丁目30番4号 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320
http://www.naganokeiki.co.jp/ お問い合わせはフリーコール/0120-10-8790

ナガノ計装 〒143-0022 東京都大田区東馬込一丁目30番4号(長野計器ビル)
TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238 http://www.nagano-keiso.co.jp

120年の伝統とイノベーションの計量装置総合システムメーカーです。

OMI 計量と制御の技術集団

OMIの製品<支えるのはイノベーション>

- 各種工業用プラント
- 各種農水産物選別プラント
- 液体・粉粒体充填装置
- 配合・調合計量システム 設計・製造
- トラックスケール計量・データ管理システム
- トレーサビリティ管理システム
- 各種穀物用計量機

多彩なニーズに 120年の技術開発とノウハウでご提案します。
計量システムの専門メーカー

伝統の技術・先進の技術・信頼の技術
近江度量衡株式会社
本社 〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3-11-70
TEL.077-562-7111 FAX.077-562-7116
【国内拠点】 本社草津工場・東京・札幌・帯広・仙台・新潟・熊本・久留米
【海外拠点】 韓国(仁川)・中国(上海)・タイ(バンコク)
URL:http://www.omiscale.co.jp